



令和元年6月19日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

雨が降る中、登園する子どもたち。上がる水しぶきを楽しむかのように長靴を履いて行進してきたり、傘に落ちる雨粒の音を聞いてみたり、子どもたちにとっては一つ一つのことが、心を動かす楽しい出来事のようにです。私たち大人も、ありのままを受け入れ、一つ一つの出来事を丁寧に味わう心の余裕をもつことが大切だと、子どもの姿から学びました。草木がカラカラに乾く夏になる前の潤いの季節。子どもも大人の心も、ますます潤うことを願っています。

## 第1回 幼稚園関係者委員会が開催されました

酒匂幼稚園がより良い教育活動を行うことができるようにご意見をいただいたり支援していただいたりする幼稚園関係者委員会が5月27日に開かれました。各委員の方から、次のようなお話がありました。

### 子どもの姿や教育活動について

- 子どもの遊びの質が高い。先生方の教材や環境の工夫によるものと思われる。子どもの想像力も豊かになっている。
- 子どもの『やりたい!』という思いを大切にしている。
- 子ども同士が自然に学び合っている。
- 年少児も園になじんでいる。年長児は園のリーダーとしての自覚が育っている。今後の育ちが楽しみ。
- 今年度、まちづくり委員会の防災部会が登園日に防災に関する行事を行う。子どもと保護者に防災について関心をも ってもらいたい。

### 幼小接続について

- 1年生になると担任1人になり、今の環境との差が大きい。スタートカリキュラムの大切さを感じる。

#### 令和元年度関係者委員の皆様

酒匂・小八幡地区自治会連合会長 譲原 春夫 様	主任児童委員 高橋 美智子 様
小田原市立酒匂小学校長 倉澤 良一 様	主任児童委員 鈴木 かおり 様
小田原市立富士見小学校長 加藤 裕之 様	保護者と教師の会会長 鈴木 清美 様

関係者委員会でのご意見や感想を職員間で機会あるごとに振り返り、子どもたちのために、より良い教育活動ができるように日々の保育に取り組んでいきたいと思っております。



この指とまれの会の方をお招きして、『シャボン玉で遊ぼう』を行いました。『原っぱで寝転んでお話しする人、この指とまれ!』35年以上前の酒匂幼稚園の保護者が卒園時に立ち上げた会だそうです。東日本大震災をきっかけに、『子どもたちのために何かできることをしよう!』との思いで、シャボン玉の会を開催するようになったとのこと。幼稚園のある地域には『子どもたちのために!』と活動して下さる方が沢山いらして、心豊かに育つことができています。絵本の部屋のリニューアルや『英語で遊ぼう!』の通訳等、保護者の方のご協力も子どもたちが心豊かに育っていくための力となっています。感謝いたします。